



# karino 常設展示場 kaiyuan

## 建築家×建築家talk

時代に合わせながら、どこか懐かしい住まい。

万建設が、建築家とコラボレーションして手がける「karino」の家。  
 どんな家づくりをしているの？展示場「懐癒庵 kaiyuan」って？  
 karinoの建築家である雨宮さんと田口さんに語ってもらいました。



karino 建築家  
 UGU ARCHITECTS 一級建築士  
 雨宮 靖さん  
 趣味は登山・キャンプ。

建築家と万建設がコラボ、「karino」とは？

雨宮さん\*万建設とともに家をつくりあげる「karino」を始めて、もう6年目ですね。

田口さん\*私は2年ほど後からの参加なので、4年目かな。

雨宮さん\*私たちはあくまでも、独立した個々の建築家としてkarinoに関わっています。だからこそ、施主さまの立場に立って、設計通りに家づくりが行われているかチェックすることができるんです。

田口さん\*住宅会社に属する建築士だと、「施工が簡単なように」と考えがちですが、私たちは独立しているのでも、「一番いい」と思うプランを提案できる。そこもkarinoの長所ですね。

田口さん\*ただ、建築家に頼むと費用が高くなる、という印象を持つ方も多いですね。通常は「設計監理料」として工事費の10%くらいをもらいますが、karinoでは、万建設にフォローしてもらっている分、5%に抑えています。

田口さん\*私たちは東京や神奈川に籍があるので、フットワークという面では万建設さんに助けてもらっていますね。補いあっている関係なんです。

雨宮さん\*もともと万建設の施工能力は確か。お互いに持っているものを合わせたコラボレーション、それが「karino」なんです。

雨宮さん\*家って、周りの環境に大きく左右されるものだからね。敷地から何が見えるか、はともかく。敷地は現地に行き、どんな状況を見た上で、そこでどんな暮らしが展開されるのかを形にしていけることが、私たちの仕事なんです。

田口さん\*そこで、「懐癒庵」では家を壁でぐるっと囲うことにしたんです。京都の長屋のような木塙で囲うことで、懐かしさも感じさせつつ、外からは中への期待感も誘うように。同じ土地でずっと暮らしていた昔と違って、現代はプライバシーを守りつつ隣との関係を築いていく時代。「モダン」が流行っていますが、ただ形がモダンなのではなく、時代に合わせた家づくりこそが「モダン」なのだと思いますよ。

雨宮さん\*私たちはそれぞれ独立しているの、たまたま同じ依頼があっても全く違うプランができあがります。でも、やっぱり時代を見つめてつくる家なので、大枠は同じなのかな、という気がしますね。

田口さん\*間取りももちろん重要。家

田口さん\*ぜひ、「懐癒庵」を見てほしいですね。誌面の取材を受けておいてなんですが（笑）、結局家って空間じゃないですか。二次元の写真で見てもわからないですね。やっぱり実際に体感していただくのが一番ですよ。

田口さん\*ぜひ、足を運んで見に来てください。

雨宮さん\*ぜひ「懐癒庵」を見てほしいですね。誌面の取材を受けておいてなんですが（笑）、結局家って空間じゃないですか。二次元の写真で見てもわからないですね。やっぱり実際に体感していただくのが一番ですよ。

田口さん\*ぜひ、足を運んで見に来てください。



karino 建築家  
 Tagu Design Studio 一級建築士  
 田口 秀樹さん

趣味は音楽で、高校卒業後はミュージシャンを志したほどなのだから。楽器は主にキーボード。



万建設展示場  
 懐癒庵  
 かいゆうあん



Nostalgic(ノスタルジック)…懐かしい  
 Healing(ヒーリング)…癒される  
 かつて、どこかで味わったような「懐かしさ」  
 それでいて、喧騒からエスケープしたような「癒しシーン」  
 おだやかかつ心はずむ気分で、  
 明日を手に入れることができる(住まい)…。  
 それが、このkarino housing kaiyuanです。



万建設展示場懐癒庵ご案内図



宇都宮打ち合わせルームご案内図



宇都宮打ち合わせルーム

※宇都宮近郊にお住まいの方はこちらの打ち合わせルームをご案内いたします。スタッフが常駐しておりませんので、ご来店の際は本社までお問い合わせください。

